

平成21年度 全国家庭児童調査結果の概要

目次

調査の概要	1ページ
結果の概要	
I 世帯の状況	3
1 父母及び保護者の状況	3
(1) 父母の有無・同別居別にみた世帯の状況	3
(2) 保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況	4
(3) 「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況	4
(4) 父母の仕事の種類	5
2 その他の状況	5
(1) 父母の仕事からの帰宅時間の状況	5
(2) 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数	6
(3) 父母の仕事の種類別にみた子どもたちとの会話時間（1週間当たり）	7
(4) 子どもたちとよく一緒にすること	8
(5) 子育てについての不安や悩み	9
(6) 子育てについての不安や悩みの相談相手	10
(7) 公的機関等の利用状況	11
(8) 子育てに関する事業等の利用状況	11
(9) 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況	12
(10) 1か月間にかかる養育費の状況（平成21年11月の1か月）	13
II 18歳未満の子どもたちの状況	14
1 未就学児童の状況	14
2 終業後のクラブ活動・塾等の状況	14
3 帰宅時間の状況	15
4 遊びの状況	16
(1) 普段、一緒によく遊ぶ友達の種類	16
(2) 一緒によく遊ぶ友達の数	17
(3) 普段の遊び場	17
5 1日にどのくらいテレビやDVDを見たり、テレビゲームやパソコンで遊んだり、携帯電話を使用しているかの状況	18
(1) 1日のうち、テレビやDVDを見たりする時間	18
(2) 1日のうち、テレビゲームやパソコンで遊ぶ時間	18
(3) 1日のうち、携帯電話を使用する時間	19
6 不安や悩み、しつけの状況	20
(1) 現在持っている不安や悩み	20
(2) 現在持っている不安や悩みの相談相手	21
(3) 父母のしつけについてどう思っているかの状況	22
7 大切なことと思うこと	23
8 困っている人に会ったときの対応	23
(1) 「電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていた」ときの対応	23
(2) 「遊園地で迷子を見かけた」ときの対応	24
(3) 「クラスの誰かが他の子をいじめているのを見た」ときの対応	24
9 自分の将来と今、幸せだと思うかどうかについての状況（中学生以上）	25
(1) 将来、結婚をしたいと思っているか（中学生以上）	25
(2) 将来、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）	25
(3) 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）の状況	26
(参考表)	
参考表1 子どもの就学状況別にみた1か月間（平成21年11月の1か月）にかかる養育費（教育費、保育料、医療費、小遣い）	27
参考表2 将来、結婚をしたいと思っているか、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）	28
参考表3 生活行動の経験	29
用語の解説	30

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、全国の家庭にいる児童及びその世帯の状況を把握し、児童福祉行政推進のための基礎資料を得ることを目的として、5年周期で実施している。

2 調査の対象及び客体

全国の18歳未満の児童（平成21年12月1日現在）のいる世帯を対象として、平成21年国民生活基礎調査の対象となった調査単位区から無作為に抽出した360単位区内の18歳未満の児童のいる世帯及びその世帯にいる小学校5年生から18歳未満までの児童を客体とした。

3 調査の実施日

平成21年12月1日

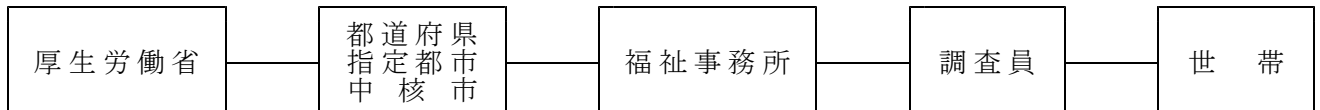
4 調査の事項

父母及び保護者の状況、父母の仕事の状況、父母の仕事からの帰宅時間、家族そろって一緒に食事をする日数、子育てについての不安や悩み及びその相談相手、父母のしつけの状況、1か月にかかる養育費の状況、未就学児童の状況、終業後のクラブ活動、塾等の状況、帰宅時間の状況、普段の遊び場、不安や悩み及びその相談相手、自分の将来と今、幸せだと思うかどうかについての状況等

5 調査の方法

調査員があらかじめ配布した調査票に世帯が自ら記入し、後日、調査員が回収する留置自計方式により行った。

6 調査の系統



- (1) 調査の企画及び立案は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局において行った。
- (2) 都道府県、指定都市及び中核市においては、民生主管部（局）が福祉事務所を指導監督して調査を実施した。

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局において行った。調査客体数、回収客体数、集計客体数、有効回答率は、次のとおりであった。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数	有効回答率
保護者用調査票	1,656世帯	1,395世帯	1,369世帯	82.7%
児童用調査票	1,191人	1,106人	1,098人	92.2%

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0

(2) 構成割合は、単位未満を四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

結果の概要

I 世帯の状況

1 父母及び保護者の状況

(1) 父母の有無・同別居別にみた世帯の状況

父母の有無・同別居別にみた世帯の状況について、それぞれ世帯数の構成割合をみると、「父母ともいる」世帯は88.9%（前回（平成16年12月1日調査、以下同じ。）91.6%）で「父母とも同居」している世帯は84.2%（前回88.2%）、「母がいない」世帯は1.8%（前回1.2%）で「父同居」の世帯は1.7%（前回1.2%）、「父がいない」世帯は9.2%（前回6.9%）で「母同居」の世帯は8.9%（前回6.8%）、「父母ともいない」世帯は0.1%（前回0.1%）となっている。

また、それぞれ児童数の構成割合をみると、「父母ともいる」世帯は90.9%（前回92.6%）、「母がいない」世帯は1.5%（前回1.2%）、「父がいない」世帯は7.5%（前回6.0%）、「父母ともいない」世帯は0.0%（前回0.1%）となっている。

なお、1世帯当たり平均児童数をみると、1.72人（前回1.77人）で、これを父母の有無別にみると、「父母ともいる」世帯は1.76人（前回1.79人）、「母がいない」世帯は1.46人（前回1.71人）、「父がいない」世帯は1.41人（前回1.55人）、「父母ともいない」世帯は1.00人（前回1.00人）となっている。（表1）

表1 父母の有無・同別居別にみた世帯の状況

父母の有無・同別居	平成1年			平成16年			平成21年		
	世帯数の 構成割合 (%)	児童数の 構成割合 (%)	1世帯 当たり 平均児童数 (人)	世帯数の 構成割合 (%)	児童数の 構成割合 (%)	1世帯 当たり 平均児童数 (人)	世帯数 及び 構成割合	児童数 及び 構成割合	1世帯 当たり 平均児童数 (人)
総数	100.0	100.0	1.78	100.0	100.0	1.77	1,369 (100.0%)	2,358 (100.0%)	1.72
父母ともいる	93.6	94.7	1.80	91.6	92.6	1.79	1,217 (88.9)	2,144 (90.9)	1.76
父母とも同居	90.5	91.9	1.81	88.2	89.5	1.80	1,152 (84.2)	2,037 (86.4)	1.77
父同居・母別居	0.4	0.4	2.00	0.7	0.6	1.50	2 (0.2)	4 (0.2)	2.00
父別居・母同居	2.5	2.2	1.54	2.7	2.4	1.59	60 (4.4)	98 (4.2)	1.63
父母とも別居	0.2	0.1	1.00	—	—	—	3 (0.2)	5 (0.2)	1.67
母がいない	1.1	0.9	1.45	1.2	1.2	1.71	24 (1.8)	35 (1.5)	1.46
父同居	1.1	0.9	1.45	1.2	1.2	1.71	23 (1.7)	34 (1.4)	1.48
父別居	—	—	—	—	—	—	1 (0.1)	1 (0.0)	1.00
父がいない	5.2	4.4	1.49	6.9	6.0	1.55	126 (9.2)	177 (7.5)	1.41
母同居	5.2	4.4	1.49	6.8	6.0	1.55	122 (8.9)	171 (7.3)	1.40
母別居	—	—	—	0.1	0.0	1.00	4 (0.3)	6 (0.3)	1.50
父母ともいない	0.0	0.0	1.00	0.1	0.1	1.00	1 (0.1)	1 (0.0)	1.00

注) 「総数」には「不詳」を含む。

(2) 保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況

保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況をみると、児童の保護者は、「父母」が99.6%、「祖父母」が0.2%、「おじ・おば」が0.1%、「その他」が0.1%となっており、保護者のほとんどが「父母」である。また、保護者の年齢をみると、「40～44歳」が24.3%（前回23.8%）と最も多く、次いで「35～39歳」の22.4%（前回21.5%）、「45～49歳」の19.1%（前回19.0%）、「30～34歳」の13.2%（前回13.7%）などの順になっており、平均年齢は41.7歳（前回41.8歳）となっている。（表2）

表2 保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況

保護者の年齢階級	平成11年	平成16年	平成21年				
	総数	総数	総数	父 母	祖 父 母	おじ・おば	そ の 他
総 数	(%) 100.0	(%) 100.0	(世帯) 1,369 (100.0%) (100.0%)	(世帯) 1,364 (99.6%) (100.0%)	(世帯) 3 (0.2%) (100.0%)	(世帯) 1 (0.1%) (100.0%)	(世帯) 1 (0.1%) (100.0%)
30歳未満	7.9	6.3	63 (4.6)	63 (4.6)	—	—	—
30～34歳	16.5	13.7	181 (13.2)	181 (13.3)	—	—	—
35～39歳	19.4	21.5	307 (22.4)	306 (22.4)	—	—	1 (100.0)
40～44歳	21.4	23.8	332 (24.3)	332 (24.3)	—	—	—
45～49歳	19.9	19.0	261 (19.1)	261 (19.1)	—	—	—
50～54歳	12.1	10.8	141 (10.3)	141 (10.3)	—	—	—
55～59歳	2.0	3.3	55 (4.0)	54 (4.0)	—	1 (100.0)	—
60歳以上	0.7	0.4	17 (1.2)	14 (1.0)	3 (100.0)	—	—
不 詳	0.1	1.1	12 (0.9)	12 (0.9)	—	—	—
平均年齢(歳)	40.8	41.8	41.7	41.6	64.7	58.0	36.0

注) 1. 保護者の「18歳以上の兄・姉」は客体がないため計上していない。

(3) 「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況

「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況をみると、父の97.6%（前回97.9%）、母の56.3%（前回55.0%）が就労しており、いわゆる「共働き」世帯（「父母とも就労している世帯」、以下同じ。）は55.3%（前回54.3%）、「片働き」世帯（「父又は母が就労している世帯」、以下同じ。）は43.3%（前回44.3%）となっている。また、「共働き」世帯における児童数の構成割合は55.8%、1世帯当たりの平均児童数は1.78人となっている。（表3）

表3 「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況

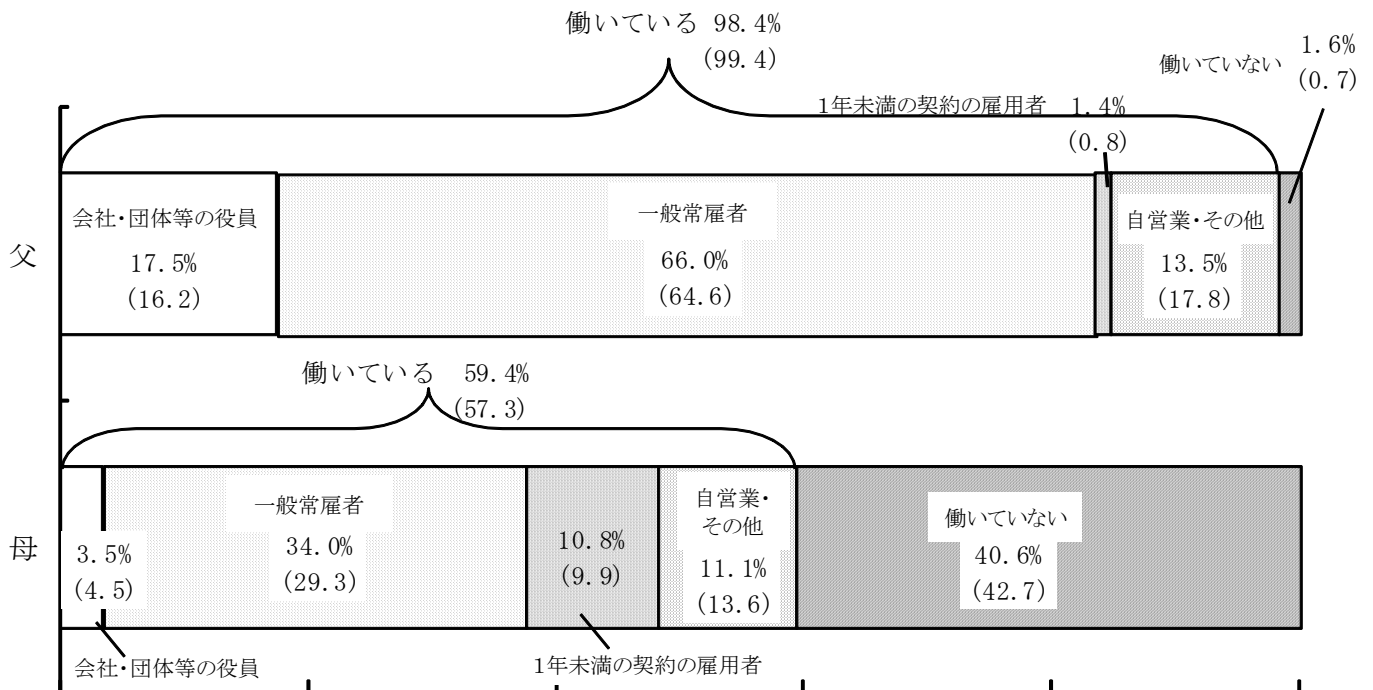
父 母 の 就 労 状 況	平成11年	平成16年	平成21年		
	世帯数の構成割合	世帯数の構成割合	世帯数及び構成割合	児童数及び構成割合	1世帯当たりの平均児童数
総数	(%) 100.0	(%) 100.0	(世帯) 1,152 (100.0%)	(人) 2,037 (100.0%)	(人) 1.77 (1.80)
父母とも就労している (共働き)	51.6	54.3	637 (55.3)	1,136 (55.8)	1.78 (1.81)
父が就労している } (片働き)	47.7	43.6	487 (42.3)	862 (42.3)	1.77 (1.79)
母が就労している }	0.4	0.7	12 (1.0)	15 (0.7)	1.25 (1.25)
父母は就労していない	0.3	0.2	7 (0.6)	9 (0.4)	1.29 (2.00)
不詳	—	1.2	9 (0.8)	15 (0.7)	—

注) 1. 「就労している(働いている)」とは、「会社・団体等の役員」、「一般常雇者」、「1年未満の契約の雇
用者」、「自営業・その他」のこと。
2. 「1世帯当たりの平均児童数」の括弧内の数値は、前回の平成16年の数値である。

(4) 父母の仕事の種類

父母の仕事の種類をみると、父の98.4%（前回99.4%）、母の59.4%（前回57.3%）が就労しており、父では「会社・団体等の役員」17.5%（前回16.2%）、「一般常雇者」66.0%（前回64.6%）、「1年未満の契約の雇用者」1.4%（前回0.8%）、「自営業・その他」13.5%（前回17.8%）、「働いていない」1.6%（前回0.7%）となっており、母では「会社・団体等の役員」3.5%（前回4.5%）、「一般常雇者」34.0%（前回29.3%）、「1年未満の契約の雇用者」10.8%（前回9.9%）、「自営業・その他」11.1%（前回13.6%）、「働いていない」40.6%（前回42.7%）となっている。（図1）

図1 父母の仕事の種類（平成21年）



注1) 「自営業・その他」とは、個人経営の商店主・工場主・農業主などの事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者などのこと。
 注2) 括弧内の数値は、前回の平成16年の数値である。

2 その他の状況

(1) 父母の仕事からの帰宅時間の状況

父母の仕事からの帰宅時間の状況をみると、父では「7時前」及び「8時前」が17.5%（前回16.7%、前回17.6%）と最も多く、次いで「9時前」14.9%（前回13.6%）となっており、母では「6時前」が20.8%（前回21.3%）と最も多く、次いで、「4時前」及び「7時前」が9.4%（前回8.0%、前回9.7%）となっている。（表4）

表4 父母の仕事からの帰宅時間の状況

総数	仕事あり	午後2時前	4時前	6時前	7時前	8時前	9時前	10時前	0時前	0時後	決まっていない	仕事なし	不詳		
平成16年	父	100.0%	97.8	0.2	0.2	9.9	16.7	17.6	13.6	13.0	8.3	3.0	15.2	0.7	1.5
平成16年	母	100.0%	56.3	5.0	8.0	21.3	9.7	2.7	1.0	0.6	0.5	0.4	7.1	42.2	1.6
平成21年	父	1,177(人) (100.0%)	1,147 (97.5)	6 (0.5)	8 (0.7)	136 (11.6)	206 (17.5)	206 (17.5)	175 (14.9)	140 (11.9)	89 (7.6)	32 (2.7)	149 (12.7)	19 (1.6)	11 (0.9)
	母	1,334(人) (100.0%)	781 (58.5)	76 (5.7)	125 (9.4)	277 (20.8)	126 (9.4)	56 (4.2)	22 (1.6)	10 (0.7)	7 (0.5)	5 (0.4)	77 (5.8)	538 (40.3)	15 (1.1)

注) 「総数」からは、子どもと同居していない父、母は除く。

(2) 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数

一週間のうち、家族そろって一緒に朝食を食べる日数は、「ほとんどない」が32.0%（前回30.6%）と最も多く、次いで「毎日」が25.8%（前回26.3%）、「2～3日」が21.4%（前回21.7%）となっている。

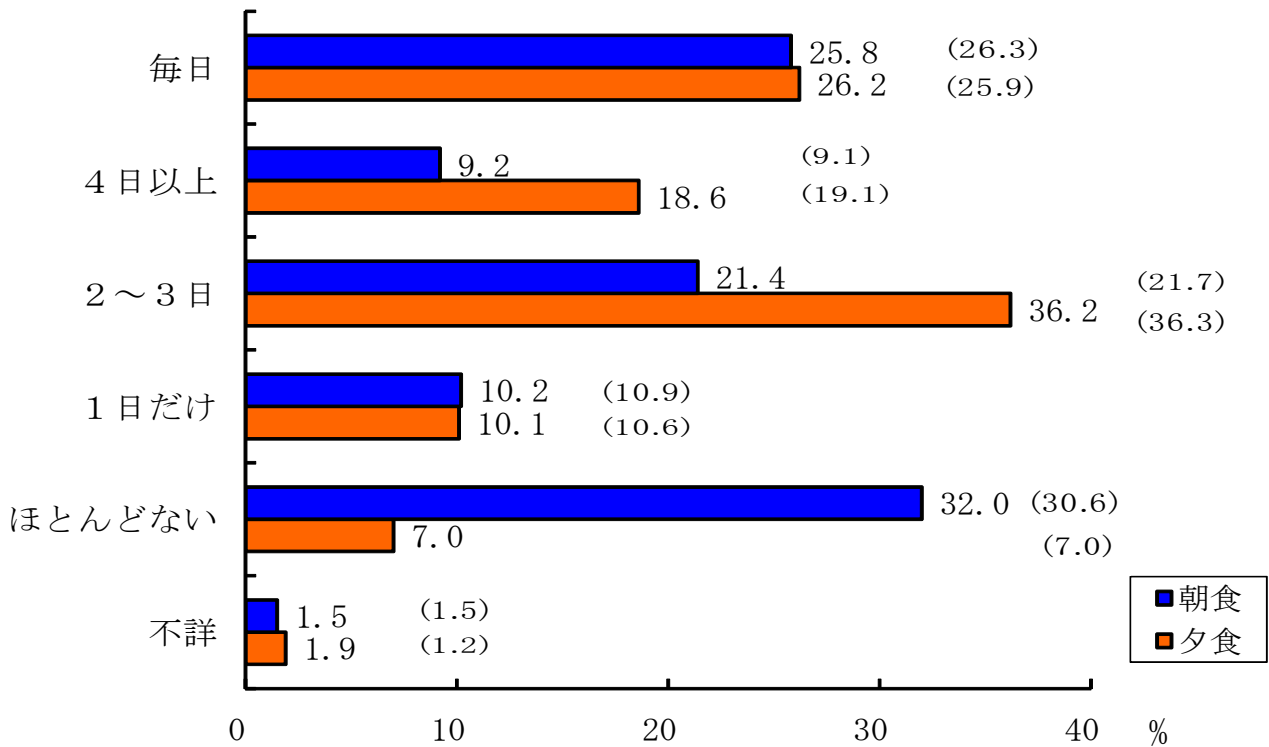
また、一週間のうち、家族そろって一緒に夕食を食べる日数は、「2～3日」が36.2%（前回36.3%）と最も多く、次いで、「毎日」が26.2%（前回25.9%）、「4日以上」が18.6%（前回19.1%）となっている。

なお、朝食と夕食を比較してみると、夕食のほうが、家族そろって一緒に食べる日数の割合が多くなっている（表5及び図2）。

表5 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数

食事（朝食及び夕食）		総数	毎日	4日以上	2～3日	1日だけ	ほとんどない	不詳
平成16年	朝食	100.0%	26.3	9.1	21.7	10.9	30.6	1.5
	夕食	100.0%	25.9	19.1	36.3	10.6	7.0	1.2
平成21年	朝食	1,369(世帯) (100.0%)	353 (25.8)	126 (9.2)	293 (21.4)	139 (10.2)	438 (32.0)	20 (1.5)
	夕食	1,369(世帯) (100.0%)	359 (26.2)	254 (18.6)	496 (36.2)	138 (10.1)	96 (7.0)	26 (1.9)

図2 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数（平成21年）



注2) 括弧内の数値は、前回の平成16年の数値である。

(3) 父母の仕事の種類別にみた子どもたちとの会話時間（1週間当たり）

父母の仕事の種類別に子どもたちとの会話時間（1週間当たり）をみると、「就労している」父では「0～4時間」が31.8%と最も多くなっており、「会社・団体等の役員」では32.9%、「一般常雇者」では30.8%、「自営業・その他」では35.4%となっている。
 「就労している」母では、「10～14時間」と「20～29時間」が17.7%と最も多くなっており、「就労していない」母では、「20～29時間以上」が14.9%と最も多くなっている。（表6）

表6 父母の仕事の種類別にみた子どもたちとの会話時間（1週間当たり）

会話時間	平成16年	平成21年						
		総数	就労している	会社・団体等の役員	一般常雇者	1年未満の契約の雇用者	自営業、その他	就労していない
父 総数	100.0%	1,166 (人) (100.0%)	1,147 (人) (100.0%)	207(人) (100.0%)	763(人) (100.0%)	16(人) (100.0%)	161(人) (100.0%)	19(人) (100.0%)
0～4時間	31.2	371 (31.8)	365 (31.8)	68 (32.9)	235 (30.8)	5 (31.3)	57 (35.4)	6 (31.6)
5～9時間	18.3	218 (18.7)	216 (18.8)	38 (18.4)	147 (19.3)	4 (25.0)	27 (16.8)	2 (10.5)
10～14時間	15.3	174 (14.9)	169 (14.7)	33 (15.9)	111 (14.5)	1 (6.3)	24 (14.9)	5 (26.3)
15～19時間	7.1	65 (5.6)	65 (5.7)	6 (2.9)	48 (6.3)	—	11 (6.8)	—
20～29時間	13.7	182 (15.6)	181 (15.8)	33 (15.9)	118 (15.5)	4 (25.0)	26 (16.1)	1 (5.3)
30～39時間	6.3	63 (5.4)	61 (5.3)	12 (5.8)	44 (5.8)	2 (12.5)	3 (1.9)	2 (10.5)
40～49時間	2.0	31 (2.7)	30 (2.6)	7 (3.4)	20 (2.6)	—	3 (1.9)	1 (5.3)
50～59時間	0.4	8 (0.7)	8 (0.7)	—	5 (0.7)	—	3 (1.9)	—
60～69時間	0.6	3 (0.3)	3 (0.3)	—	3 (0.4)	—	—	—
70時間以上	0.3	1 (0.1)	1 (0.1)	—	—	—	1 (0.6)	—
不詳	4.7	50 (4.3)	48 (4.2)	10 (4.8)	32 (4.2)	—	6 (3.7)	2 (10.5)
母 総数	100.0%	1,319 (人) (100.0%)	781 (人) (100.0%)	47(人) (100.0%)	445(人) (100.0%)	143(人) (100.0%)	146(人) (100.0%)	538(人) (100.0%)
0～4時間	10.8	154 (11.7)	120 (15.4)	14 (29.8)	67 (15.1)	16 (11.2)	23 (15.8)	34 (6.3)
5～9時間	14.4	178 (13.5)	127 (16.3)	8 (17.0)	72 (16.2)	27 (18.9)	20 (13.7)	51 (9.5)
10～14時間	14.0	201 (15.2)	138 (17.7)	4 (8.5)	82 (18.4)	27 (18.9)	25 (17.1)	63 (11.7)
15～19時間	5.1	65 (4.9)	41 (5.2)	1 (2.1)	27 (6.1)	8 (5.6)	5 (3.4)	24 (4.5)
20～29時間	16.3	218 (16.5)	138 (17.7)	7 (14.9)	80 (18.0)	24 (16.8)	27 (18.5)	80 (14.9)
30～39時間	12.6	133 (10.1)	77 (9.9)	5 (10.6)	41 (9.2)	19 (13.3)	12 (8.2)	56 (10.4)
40～49時間	5.8	108 (8.2)	59 (7.6)	3 (6.4)	35 (7.9)	7 (4.9)	14 (9.6)	49 (9.1)
50～59時間	6.3	83 (6.3)	27 (3.5)	1 (2.1)	18 (4.0)	1 (0.7)	7 (4.8)	56 (10.4)
60～69時間	2.3	45 (3.4)	18 (2.3)	1 (2.1)	7 (1.6)	5 (3.5)	5 (3.4)	27 (5.0)
70時間以上	8.4	93 (7.1)	17 (2.2)	—	8 (1.8)	6 (4.2)	3 (2.1)	76 (14.1)
不詳	4.1	41 (3.1)	19 (2.4)	3 (6.4)	8 (1.8)	3 (2.1)	5 (3.4)	22 (4.1)

注) 1. 「総数」からは、「父または母のどちらかが別居している」場合及び父母とも就労状況が「不詳」のものを除く。
 2. 子どもが複数いる場合は、全ての子どもたちとの会話時間の合計である。

(4) 子どもたちとよく一緒にすること

子どもたちとよく一緒にすることをみると、「デパートやスーパーなどへ買い物に行く」が86.6%（前回86.4%）と最も多く、「テレビを見て、話し合ったりする」が78.7%（前回75.7%）、「外へ出て、食事をする」が59.8%（前回62.7%）となっている。

男女別にみると、男子では「一緒にスポーツクラブに入るなど計画的にスポーツを一緒にする」15.9%（女子11.3%）、「旅行やハイキング、魚釣りなどに出かける」35.9%（女子34.5%）などが、女子に比べて多くなっており、女子では「室内でゲームやごっこ遊びをする」59.0%（男子50.3%）、「ケーキ作りや料理をする」50.0%（男子36.7%）などが、男子に比べて多くなっている。

学年別にみると、各学年とも「デパートやスーパーなどへ買い物に行く」の割合が多くなっている。（表7）

表7 子どもたちとよく一緒にすることの構成割合（複数回答）

（単位：％）

一緒にすること	平成 16年	平成21年								
		総数	男	女	未就学	小学校 1～3 年生	小学校 4～6 年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
外へ出て、食事をする	62.7	59.8	58.3	61.5	56.0	62.7	65.0	60.3	55.4	60.0
一緒にスポーツクラブに入るなど計画的にスポーツを一緒にする	11.1	13.7	15.9	11.3	10.0	16.9	19.6	14.3	7.7	40.0
散歩やボール遊びなどをする	49.5	48.0	47.1	49.0	76.7	62.7	49.1	22.7	17.6	20.0
旅行やハイキング、魚釣りなどに出かける	36.0	35.2	35.9	34.5	32.3	43.4	42.6	31.1	26.0	20.0
映画や観劇、音楽会へ行く	30.7	30.7	29.0	32.5	21.6	35.4	39.2	33.8	28.5	20.0
デパートやスーパーなどへ買い物に行く	86.4	86.6	83.6	89.8	92.3	90.4	86.2	82.5	75.6	40.0
室内でゲームやごっこ遊びをする	50.4	54.5	50.3	59.0	76.9	62.4	51.2	29.3	17.9	20.0
音楽を聞いたり、演奏や合唱・カラオケをする	31.0	34.7	32.9	36.6	40.4	38.1	36.2	30.2	26.0	20.0
ケーキ作りや料理をする	39.6	43.1	36.7	50.0	44.7	48.7	45.2	39.0	36.5	40.0
絵を描いたり、物をつくったり編み物などをする	32.1	30.8	27.5	34.2	54.5	33.5	22.6	13.6	8.3	—
お話を聞かせたり、本を読んでその感想を話し合ったりする	42.0	39.2	35.9	42.8	72.6	46.0	26.7	15.9	10.3	—
勉強をみてやる	53.4	55.9	56.1	55.7	45.3	85.1	74.0	49.0	26.9	40.0
テレビを見て、話し合ったりする	75.7	78.7	79.0	78.3	68.8	84.1	84.3	83.7	77.9	60.0
家族会議を開いて、話し合う	13.6	18.7	18.6	18.8	11.5	22.9	24.0	19.3	16.7	20.0
家業の手伝いをさせ、一緒に仕事をする	42.3	49.2	47.8	50.8	44.0	56.1	56.7	50.3	40.4	20.0
その他	4.3	3.7	3.4	4.1	3.8	3.4	3.9	3.2	4.8	—
特に一緒にすることはない	5.2	5.7	6.2	5.1	3.8	3.1	3.5	7.3	14.1	20.0
不詳	0.8	2.2	2.4	2.0	0.8	1.7	1.8	3.4	3.2	20.0

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(5) 子育てについての不安や悩み

子育てについての不安や悩みの状況を見ると、「子どもの勉強や進学に関すること」が56.5%（前回54.8%）と最も多く、「子どものしつけに関すること」53.4%（前回52.3%）、「子どもの性格や癖に関すること」44.5%（前回40.5%）となっている。（表8）

表8 子育てについての不安や悩みの種類の構成割合（複数回答）

（単位：％）

不安や悩みの種類	平成16年	平成21年								
		総数	男	女	未就学	小学校1～3年生	小学校4～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子どものしつけに関すること	52.3	53.4	53.5	53.3	62.3	57.6	56.9	45.8	36.9	80.0
子どもの健康に関すること	30.9	33.5	33.4	33.7	39.1	32.5	33.9	29.7	30.1	40.0
子どもの勉強や進学に関すること	54.8	56.5	58.3	54.6	33.2	50.8	67.3	75.3	76.0	80.0
子どもの就職に関すること	16.4	22.1	23.7	20.5	8.0	11.1	22.6	37.2	42.6	80.0
子どもの性格や癖に関すること	40.5	44.5	43.3	45.8	51.5	50.1	50.2	33.8	27.9	40.0
子どもの暴力や非行に関すること	5.1	6.5	7.4	5.5	8.9	6.0	7.1	5.0	4.5	—
子どものいじめに関すること	11.2	14.2	13.0	15.5	13.8	15.4	19.1	14.1	7.7	—
子どもの友人に関すること	17.9	21.5	20.9	22.1	20.8	24.1	26.3	20.6	13.8	—
子どもの性に関すること	7.4	7.9	8.3	7.4	4.4	5.1	12.9	10.0	8.7	20.0
子どもが保育園や幼稚園、学校に行くのを嫌がること	6.3	6.9	6.4	7.4	7.0	5.1	8.1	8.8	5.4	—
子どもの育て方について、自信が持てないこと	21.4	21.4	20.4	22.4	27.0	19.3	21.0	20.6	13.8	40.0
子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと	8.3	10.0	9.5	10.5	10.7	8.7	11.5	10.9	6.7	—
家の近所の環境がよくないこと	6.3	5.3	5.0	5.7	6.0	4.8	6.2	4.8	3.5	—
その他	0.9	1.2	1.2	1.2	1.4	1.0	0.9	1.4	1.6	—
特に不安や悩みはない	16.4	5.9	5.7	6.0	6.9	4.1	4.8	6.6	7.1	20.0

注) 「高校生等」とは「高校」、「各種学校・専修学校・職業訓練校」の合計である。

(6) 子育てについての不安や悩みの相談相手

不安や悩みを持っていると回答した者に、不安や悩みの種類ごとにその相談相手について尋ねた。不安や悩みの種類として多く見られた「子どものしつけに関すること」、「子どもの勉強や進学に関すること」、「子どもの性格や癖に関すること」では、「家族の者に相談する」、「信頼できる身近な人に相談する」、「インターネットの子育てサイトなどに相談する」が、最も多くなっている。

なお、「子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと」を除いては、「家族の者に相談する」が、最も多くなっている。(表9)

表9 子育てについての不安や悩みの種類別の相談相手の構成割合(複数回答)

(単位：%)

(平成21年)

不安や悩みの種類	総数	専門家や公的機関に相談する(電話も含む)	保育園や幼稚園、学校の先生などに相談する	信頼できる身近な人に相談する	インターネットの子育てサイトなどに相談する	家族の者に相談する	子どもと話し合う	自分で考えて解決する	その他	相談相手はいない	不詳
子どものしつけに関すること	100.0	4.6	20.0	47.5	3.3	67.8	23.3	21.8	2.3	3.0	5.1
子どもの健康に関すること	100.0	35.7	15.2	34.2	5.4	55.6	13.0	16.9	3.0	1.9	6.9
子どもの勉強や進学に関すること	100.0	6.8	31.3	31.3	2.3	57.6	44.3	11.5	3.2	1.5	6.5
子どもの就職に関すること	100.0	6.3	22.3	22.3	3.7	47.8	44.5	9.0	3.7	4.7	12.0
子どもの性格や癖に関すること	100.0	8.2	21.2	41.9	2.5	65.5	30.3	15.6	2.8	2.8	6.0
子どもの暴力や非行に関すること	100.0	8.6	24.7	23.5	1.2	59.3	32.1	22.2	2.5	6.2	6.2
子どものいじめに関すること	100.0	6.0	34.1	34.6	2.2	54.9	39.6	11.0	2.2	3.3	6.0
子どもの友人に関すること	100.0	4.0	26.4	41.2	0.7	57.4	40.1	14.1	1.4	2.9	5.4
子どもの性に関すること	100.0	6.8	8.7	26.2	1.9	42.7	25.2	18.4	6.8	8.7	11.7
子どもが保育園や幼稚園、学校に行くのを嫌がること	100.0	14.3	39.6	29.7	—	46.2	33.0	11.0	1.1	3.3	9.9
子どもの育て方について、自信が持てないこと	100.0	7.0	14.4	46.0	4.9	55.4	7.4	27.0	4.9	9.1	4.9
子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと	100.0	2.4	0.8	39.4	0.8	26.0	8.7	33.9	6.3	16.5	11.8
家の近所の環境がよくないこと	100.0	6.9	4.2	19.4	5.6	34.7	15.3	20.8	4.2	16.7	16.7
その他	100.0	20.0	13.3	33.3	6.7	60.0	26.7	20.0	6.7	20.0	—

(7) 公的機関等の利用状況

公的機関等の利用状況をみると、「利用したことがある」世帯は50.2%（前回53.1%）、「利用したことはない」世帯は49.8%（前回46.9%）となっている。

さらに、利用機関等を種類別にみると、「母子健康センターまたは市町村保健センター」が31.0%（前回36.5%）と最も多く、次いで「保健所」が29.7%（前回35.2%）、「つどいの広場や子育て支援センター」の17.6%、「保育所」の6.4%（前回5.2%）、「福祉事務所」の5.3%（前回3.2%）の順になっている。（表10）

表10 公的機関等の利用状況（複数回答）

（平成21年）

父母の同別居	総数	利用したことがある	児童相談所	福祉事務所	児童委員	保健所	母子健康センター又は市町村保健センター	保育所	つどいの広場や子育て支援センターなど	その他	利用したことはない
平成11年	100.0(%)	60.7	3.5	3.4	0.1	44.2	39.6	5.2		2.0	39.3
平成16年	100.0(%)	53.1	4.0	3.2	0.3	35.2	36.5	5.2		3.0	46.9
平成21年 総数	(世帯) 1,369 (100.0%)	687 (50.2)	45 (3.3)	72 (5.3)	7 (0.5)	407 (29.7)	424 (31.0)	87 (6.4)	241 (17.6)	27 (2.0)	682 (49.8)
父母とも同居	1,152 (100.0%)	605 (52.5)	31 (2.7)	51 (4.4)	5 (0.4)	362 (31.4)	386 (33.5)	73 (6.3)	226 (19.6)	27 (2.3)	547 (47.5)
父のみ同居	25 (100.0%)	2 (8.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	—	—	—	—	1 (4.0)	—	23 (92.0)
母のみ同居	182 (100.0%)	77 (42.3)	13 (7.1)	19 (10.4)	2 (1.1)	43 (23.6)	37 (20.3)	14 (7.7)	14 (7.7)	—	105 (57.7)
その他	10 (100.0%)	3 (30.0)	—	1 (10.0)	—	2 (20.0)	1 (10.0)	—	—	—	7 (70.0)

注) 「つどいの広場や子育て支援センターなど」は平成21年度調査より新たに調査した項目。

(8) 子育てに関する事業等の利用状況

子育てに関する事業等の利用状況をみると、「地域にある」ものは、「放課後児童クラブ」が63.0%で最も多く、次いで「つどいの広場や子育て支援センターなど」54.0%、「子ども会育成会」35.9%となっている。「地域にない」ものは、「病児・病後児保育事業」12.3%が最も多く、次いで「子育てNPO」10.2%となっている。

「利用したことがある」もので最も多いのは、「つどいの広場や子育て支援センターなど」で25.3%、次いで「子ども会育成会」22.8%となっている。

「利用したことがない」もので最も多いのは、「放課後児童クラブ」で42.4%、次いで「つどいの広場や子育て支援センターなど」で25.9%となっている。（表11）。

表11 子育てに関する事業等の利用状況

（平成21年）

子育てに関する事業	総数	地域にある	利用したことがある	利用したことがない	不詳	地域にない	不明	不詳
つどいの広場や子育て支援センター	1,369(世帯) (100.0%)	739 (54.0)	347 (25.3)	355 (25.9)	37 (2.7)	98 (7.2)	429 (31.3)	103 (7.5)
養育支援訪問事業	1,369(世帯) (100.0%)	136 (9.9)	40 (2.9)	92 (6.7)	4 (0.3)	138 (10.1)	950 (69.4)	145 (10.6)
病児・病後児保育事業	1,369(世帯) (100.0%)	240 (17.5)	18 (1.3)	214 (15.6)	8 (0.6)	169 (12.3)	822 (60.0)	138 (10.1)
放課後児童クラブ	1,369(世帯) (100.0%)	863 (63.0)	252 (18.4)	580 (42.4)	31 (2.3)	115 (8.4)	296 (21.6)	95 (6.9)
ファミリーサポートセンター	1,369(世帯) (100.0%)	302 (22.1)	32 (2.3)	251 (18.3)	19 (1.4)	123 (9.0)	812 (59.3)	132 (9.6)
子育てNPO	1,369(世帯) (100.0%)	145 (10.6)	25 (1.8)	115 (8.4)	5 (0.4)	139 (10.2)	938 (68.5)	147 (10.7)
母親クラブ	1,369(世帯) (100.0%)	251 (18.3)	54 (3.9)	189 (13.8)	8 (0.6)	121 (8.8)	859 (62.7)	138 (10.1)
子ども会育成会	1,369(世帯) (100.0%)	491 (35.9)	312 (22.8)	161 (11.8)	18 (1.3)	96 (7.0)	656 (47.9)	126 (9.2)

注) 「不明」とは、子育てに関する事業等の存在がわからない、地域に「ある」か「ない」かがわからない世帯の数値。

(9) 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況

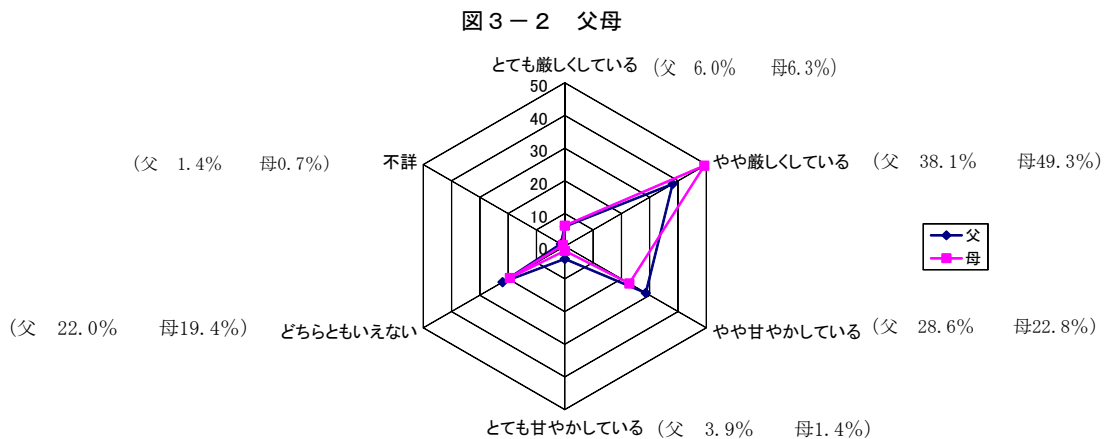
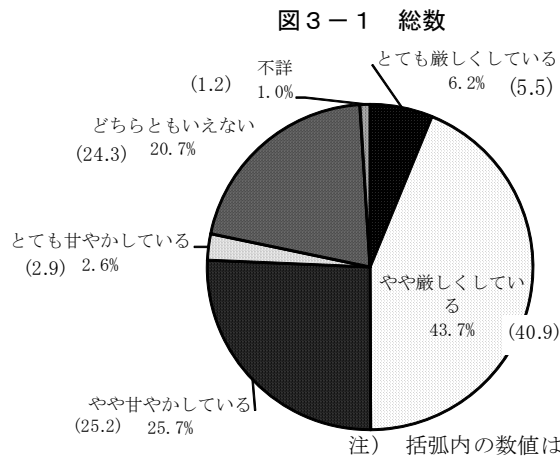
「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況を見ると、「やや厳しくしている」が43.7%（前回40.9%）と最も多く、「やや甘やかしている」25.7%（前回25.2%）、「どちらともいえない」20.7%（前回24.3%）となっている。
 父母別にみると、父では「やや厳しくしている」が38.1%、「やや甘やかしている」が28.6%、「どちらともいえない」が22.0%、母では「やや厳しくしている」が49.3%、「やや甘やかしている」が22.8%、「どちらともいえない」が19.4%となっている。（表12、図3-1及び図3-2）

表12 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況の構成割合

(単位：%)

しつけの状況	平成 16年	平成21年		
		総数	父	母
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
とても厳しくしている	5.5	6.2	6.0	6.3
やや厳しくしている	40.9	43.7	38.1	49.3
やや甘やかしている	25.2	25.7	28.6	22.8
とても甘やかしている	2.9	2.6	3.9	1.4
どちらともいえない	24.3	20.7	22.0	19.4
不詳	1.2	1.0	1.4	0.7

図3 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況 (平成21年)



(10) 1か月間にかかる養育費の状況(平成21年11月の1か月)

1か月間にかかる養育費の状況についてみると(平成21年11月の1か月)、「2万円未満」が42.4%(前回49.5%)と最も多く、以下「2万円～4万円未満」35.1%(前回30.7%)、「4万円～6万円未満」12.3%(前回11.8%)となっている。

学年別にみると「未就学」43.6%、「小学校1～3年」55.5%、「小学校4～6年」55.4%、で「2万円未満」が多く、「中学生」と「高校生等」では、「2万円～4万円未満」がそれぞれ37.2%と38.2%と最も多くなっている。(表13及び図4)

表13 1か月間にかかる養育費の状況の構成割合

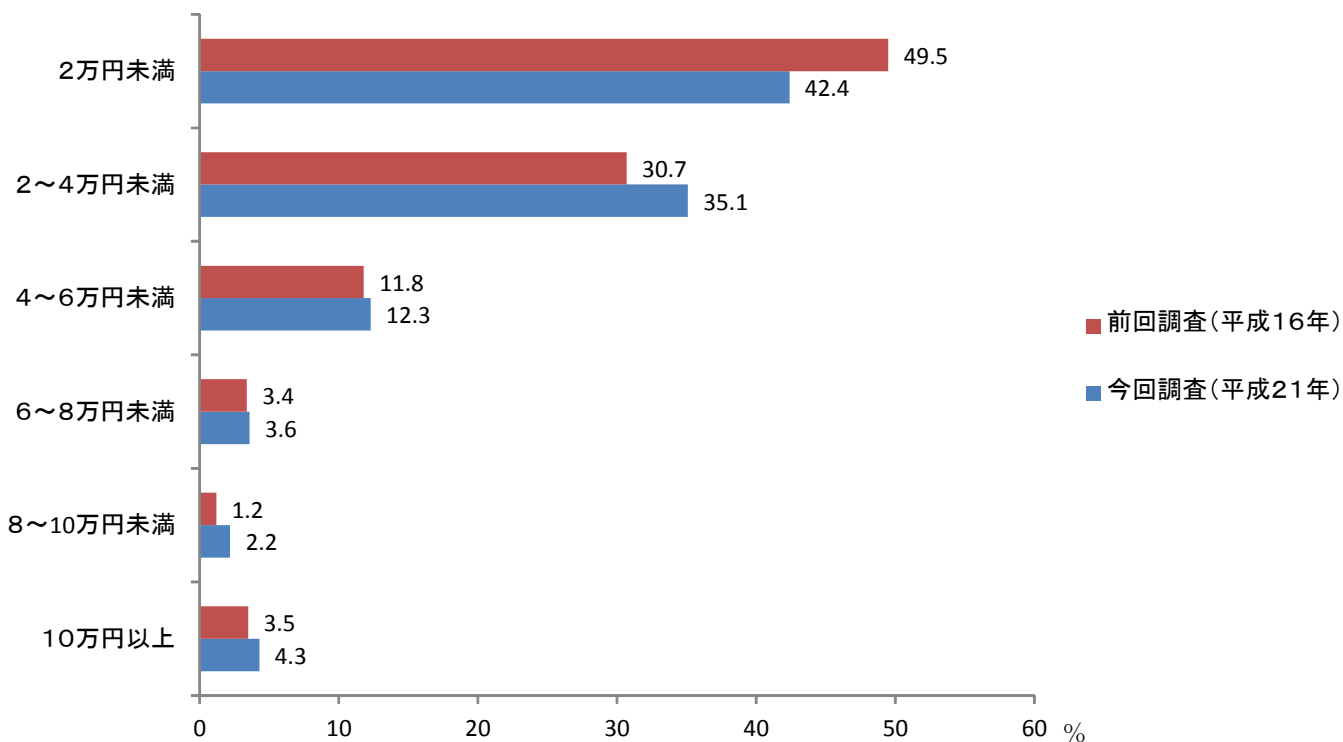
(単位:%)

(平成21年11月の1か月)

1か月間 にかかる 養育費	平成 16年	性・学年								
		総 数	男	女	未 就 学	小 学 校 1～3年生	小 学 校 4～6年生	中 学 校	高 校 生 等	就 職 その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2万円未満	49.5	42.4	43.4	41.4	43.6	55.5	55.4	33.5	14.6	100.0
2万円～ 4万円未満	30.7	35.1	34.1	36.2	36.3	34.4	30.7	37.2	38.2	—
4万円～ 6万円未満	11.8	12.3	11.7	13.0	13.0	5.1	8.2	16.4	20.9	—
6万円～ 8万円未満	3.4	3.6	3.9	3.4	1.8	1.8	2.0	4.6	10.6	—
8万円～ 10万円 未満	1.2	2.2	2.5	1.9	0.5	1.0	0.5	4.2	7.0	—
10万円 以上	3.5	4.3	4.4	4.2	4.7	2.3	3.2	4.2	8.6	—

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 養育費とは教育費、保育料、医療費、小遣いの合計である。それぞれの状況は、P27「参考表1」参照。

図4 1か月にかかる養育費の状況の構成割合



Ⅱ 18歳未満の子どもたちの状況

18歳未満の子どもたちの状況については、小学校5年生から18歳未満までの児童を客体としており、児童本人に対して回答を得た結果である。

ただし、1. 未就学児童の状況、2. 終業後のクラブ活動・塾等の状況については、保護者に回答を得た結果となっている。

1 未就学児童の状況

未就学児童の状況を見ると、「その他」が37.7%（前回42.4%）と最も多く、次いで「保育所」に通っている児童が33.0%（前回30.7%）、「幼稚園」に通っている児童が29.4%（前回26.8%）となっている。

また、「その他」を年齢各歳別にみると、「0歳」で94.9%、「1歳」で70.1%、「2歳」で67.0%、「3歳」で40.6%、「4歳」で7.7%、「5歳」で2.9%となっており、「0～2歳」で「その他」が多くなっており、「その他」の中では、「自宅・知り合いの家等」が、34.2%となっている。（表14）

表14 未就学児童の状況の構成割合

（単位：％）

年齢各歳	総 数	保 育 所	幼 稚 園	そ の 他	そ の 他	
					その他の 保育施設	自宅・知り 合いの家等
平成16年	100.0	30.7	26.8	42.4	1.5	41.0
平成21年						
総 数	100.0	33.0	29.4	37.7	3.4	34.2
0 歳	100.0	5.1	・	94.9	—	94.9
1 歳	100.0	29.9	・	70.1	3.1	67.0
2 歳	100.0	32.0	1.0	67.0	9.3	57.7
3 歳	100.0	42.6	16.8	40.6	5.0	35.6
4 歳	100.0	39.4	52.9	7.7	3.8	3.8
5 歳	100.0	33.3	63.8	2.9	1.0	1.9
6 歳	100.0	37.7	62.3	—	—	—

注) 1. 「その他の保育施設」とは、事業所内保育施設、認可外保育施設などのこと。

2. 「自宅・知り合いの家等」とは、親、ベビーシッター、親類、知り合い等により、保育が行われている場合をいう。

2 終業後のクラブ活動・塾等の状況

終業後に「クラブ活動」を「している」構成割合を学年別にみると、「小学校1～3年生」では23.9%、「小学校4～6年生」では42.3%、「中学校」70.7%、「高校等」61.7%となっている。

また、終業後に「塾等」へ「行っている」構成割合を同様にみると、「小学校1～3年生」では44.4%、「小学校4～6年生」53.6%、「中学生」56.8%、「高校生等」24.4%となっている。（表15）

表15 終業後のクラブ活動・塾等の状況の構成割合

（単位：％）

学 年	クラブ 活 動	している		塾 等	行っている	
		している	して いない		行っている	行っ ていない
平成16年	100.0	50.1	49.9	100.0	45.4	54.6
平成21年						
総 数	100.0	49.2	50.8	100.0	46.5	53.5
小学校1～3年生	100.0	23.9	76.1	100.0	44.0	56.0
小学校4～6年生	100.0	42.3	57.7	100.0	53.6	46.4
中 学 生	100.0	70.7	29.3	100.0	56.8	43.2
高 校 生 等	100.0	61.7	38.3	100.0	24.4	75.6

注) 1. 「クラブ活動」には、地域のスポーツクラブなどを含む。

2. 「塾等」とは、塾のほか、スポーツ以外の習いごと（英会話、ピアノ等）を含む。

3. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

3 帰宅時間の状況

帰宅時間の状況を見ると、「午後6時前」40.7%（前回43.1%）が最も多く、「午後4時前」18.3%（前回17.2%）、「午後7時前」14.9%（前回15.4%）となっている。
 学年別にみると、「小学校5～6年生」では「午後6時前」と「午後4時前」の合計が8割以上となっており、中学生では「午後6時前」が49.0%、「午後7時前」が20.6%となっている。
 また、「決まっていない」が、「中学生」で7.3%、「高校生等」で12.5%となっている。（表16及び図5）

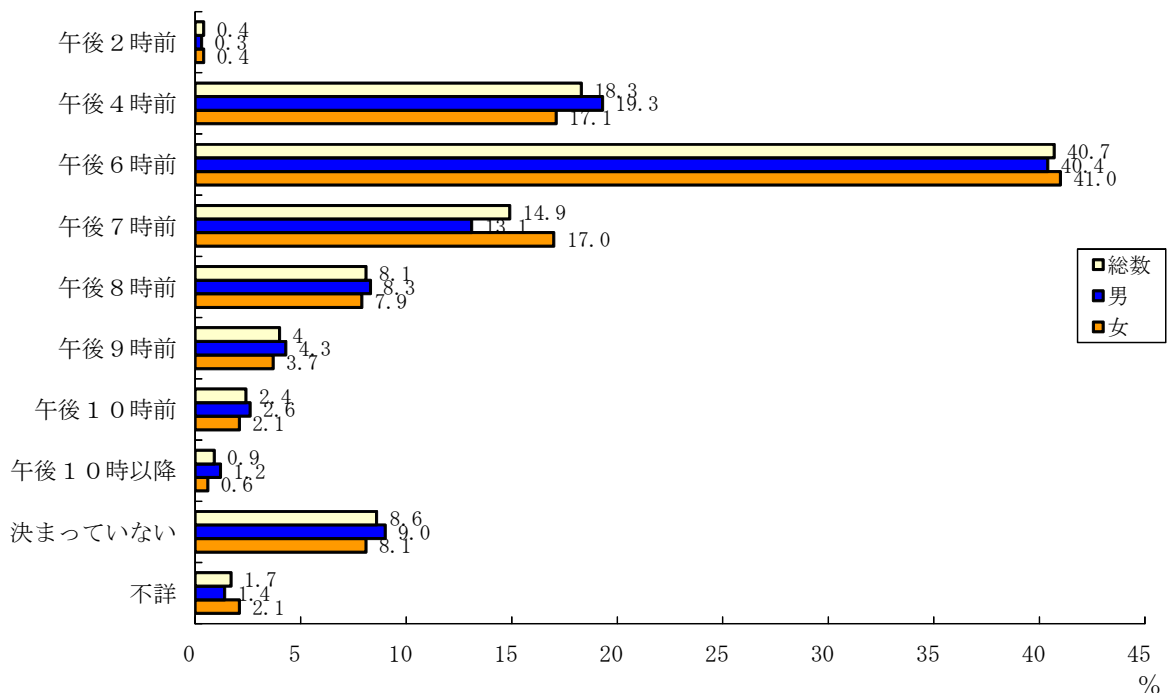
表16 帰宅時間の状況の構成割合

（単位：％）

帰宅時間	平成 16年	平成21年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
午後2時前	—	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	10.0
午後4時前	17.2	18.3	19.3	17.1	40.2	14.5	4.6	20.0
午後6時前	43.1	40.7	40.4	41.0	46.6	49.0	26.2	10.0
午後7時前	15.4	14.9	13.1	17.0	3.7	20.6	17.1	20.0
午後8時前	6.6	8.1	8.3	7.9	1.7	4.1	18.8	—
午後9時前	3.5	4.0	4.3	3.7	0.3	1.6	10.3	—
午後10時前	1.6	2.4	2.6	2.1	—	1.4	5.7	—
午後10時以降	1.1	0.9	1.2	0.6	—	—	2.8	—
決まっていない	10.6	8.6	9.0	8.1	5.1	7.3	12.5	30.0
不詳	0.8	1.7	1.4	2.1	2.0	1.4	1.7	10.0

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

図5 帰宅時間の状況（平成21年）



4 遊びの状況

(1) 普段、一緒によく遊ぶ友達の種類

普段、一緒によく遊ぶ友達の種類の状況をみると、「同じクラスの子」が73.2%（前回74.3%）と最も多く、次いで「違うクラスの子」46.1%（前回51.8%）、「クラブや部活で一緒の子」37.1%（前回40.3%）となっている。

学年別にみると、各学年とも「同じクラスの子」の割合が最も多く、「小学校5～6年生」では84.5%、「中学生」70.7%、「高校生等」67.0%となっている。

また、「中学生」では「同じクラスの子」に次いで、「違うクラスの子」51.0%、「クラブや部活で一緒の子」が48.8%と多くなっており、「高校生等」では「同じクラスの子」に次いで、「クラブや部活で一緒の子」が42.2%となっている。（表17）

表17 普段、一緒によく遊ぶ友達の種類の構成割合（複数回答）

（単位：％）

友 達 の 種 類	平 成 1 6 年	平 成 2 1 年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小学生 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
同じクラスの子	74.3	73.2	68.4	78.6	84.5	70.7	67.0	70.0
違うクラスの子	51.8	46.1	45.8	46.4	48.6	51.0	37.9	40.0
違う学年の子	15.0	13.9	16.1	11.6	27.0	11.1	6.0	30.0
家の近所の子	16.2	16.0	16.9	15.0	29.7	12.2	8.8	30.0
塾やけいこ事で一緒の子	7.4	8.4	8.3	8.5	9.5	11.6	3.1	20.0
クラブや部活で一緒の子	40.3	37.1	36.1	38.2	14.5	48.8	42.2	10.0
前の学校や幼稚園で一緒	21.6	21.9	19.2	24.9	7.1	16.3	41.0	30.0
その他	3.7	2.3	2.4	2.1	1.4	2.7	2.3	10.0
特に決まっていない	5.9	7.6	9.2	5.8	5.4	10.0	6.6	—
自分一人で遊ぶ	1.7	0.8	0.3	1.3	1.0	0.5	0.9	10.0
遊ばない（遊べない）	3.9	3.2	4.1	2.1	1.0	3.9	4.3	—
不 詳	0.7	1.1	1.0	1.2	0.7	1.1	1.4	—

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(2) 一緒によく遊ぶ友達の人数

一緒によく遊ぶ友達の人数をみると、「4～5人」が32.7%（前回33.8%）と最も多くなっており、学年別に見ると、「高校生等」以外は、「4～5人」が最も多く、「小学校5～6年生」では34.5%、「中学生」32.2%、「高校生等」は、「6人以上」が最も多く、33.0%となっている。（表18）

表18 一緒によく遊ぶ友達の人数の構成割合

（単位：％）

よく遊ぶ友達の人数	平成16年	平成21年						
		性・学年						
		総数	男	女	小学校5～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1人	2.1	1.4	1.1	1.8	1.4	1.2	1.8	—
2～3人	26.9	25.0	19.7	30.7	26.9	25.6	22.5	22.2
4～5人	33.8	32.7	34.0	31.3	34.5	32.2	31.2	55.6
6人以上	29.1	31.9	36.3	26.9	32.1	31.0	33.0	22.2
わからない	6.9	7.7	7.2	8.2	4.1	8.3	10.2	—
不詳	1.2	1.3	1.6	1.0	1.0	1.7	1.2	—

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(3) 普段の遊び場

普段の遊び場についての状況をみると、「友達の家」が63.9%（前回65.2%）と最も多く、次いで「自宅」の48.5%（前回52.5%）、「公園」31.8%（前回28.6%）、「商店街やデパート」25.5%（前回27.0%）、「ゲームセンター」19.5%（前回20.5%）、「本屋やCD・DVD店」19.4%（前回24.7%）の順になっている。

学年別にみると、「小学5～6年生」では「友達の家」72.6%が最も多く、次いで「自宅」58.8%、「公園」55.7%、「中学生」では「友達の家」65.3%が最も多く、次いで「自宅」49.2%、「公園」29.9%、「高校生等」では「友達の家」55.3%が最も多く、次いで「商店街やデパート」41.6%、「自宅」38.2%となっている（表19）

表19 普段の遊び場の構成割合(複数回答)

（単位：％）

遊び場	平成16年	平成21年						
		性・学年						
		総数	男	女	小学校5～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自宅	52.5	48.5	51.5	45.3	58.8	49.2	38.2	80.0
友達の家	65.2	63.9	66.7	60.9	72.6	65.3	55.3	50.0
公園	28.6	31.8	37.0	26.0	55.7	29.9	13.7	40.0
学校の校庭や体育館	20.5	18.0	21.4	14.3	29.7	13.6	13.1	40.0
児童館や児童センター	4.3	4.3	4.8	3.7	10.1	2.9	0.3	30.0
図書館や博物館	4.6	3.8	2.8	5.0	4.4	4.1	3.1	—
商店街やデパート	27.0	25.5	14.5	37.8	5.1	26.8	41.6	10.0
本屋やCD・DVD店	24.7	19.4	15.4	23.9	3.7	22.2	29.6	—
ゲームセンター	20.5	19.5	15.4	24.1	5.1	25.4	24.5	10.0
繁華街	6.4	6.2	4.3	8.3	0.3	5.4	12.3	—
ファミリーレストラン等	12.4	17.9	12.4	24.1	1.4	14.3	36.8	10.0
車のあまり通らない道路	4.3	2.6	3.1	2.1	6.1	1.6	1.1	—
空き地	5.1	4.4	6.9	1.5	8.1	3.9	2.0	—
神社やお寺	2.4	2.1	2.9	1.2	5.4	0.9	0.9	—
山や川やまたは海岸等	4.0	2.9	4.3	1.3	3.0	3.2	2.6	—
不詳	4.4	2.9	3.6	2.1	2.0	3.2	3.4	—

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

5 1日にどのくらいテレビやDVDを見たり、テレビゲームやパソコンで遊んだり、携帯電話を使用しているかの状況

(1) 1日のうち、テレビやDVDを見たりする時間

1日のうち、テレビやDVDを見たりする時間をみると、「1時間以上で2時間より少ない」28.8%（前回27.7%）が最も多く、次いで「2時間以上で3時間より少ない」26.0%（前回29.7%）、「3時間以上」25.8%（前回29.2%）となっている。

「ほとんど見ない」と「1時間より少ない」の合計が17.3%となっており、約8割の児童が1時間以上、テレビやDVDを見たりしている。（表20）

表20 1日のうち、テレビやDVDを見たりする時間の構成割合

（単位：％）

時 間	平成 16年	平成21年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんど見ない	2.6	6.6	7.9	5.0	3.0	5.4	10.5	20.0
1時間より少ない	8.2	10.7	10.2	11.2	9.1	9.8	13.4	—
1時間以上で2時間 より少ない	27.7	28.8	31.1	26.2	24.3	28.6	32.5	40.0
2時間以上で3時間 より少ない	29.7	26.0	25.9	26.0	28.4	25.6	23.9	40.0
3 時 間 以 上	29.2	25.8	21.9	30.1	32.4	28.8	17.1	—
不 詳	2.6	2.3	2.9	1.5	2.7	1.8	2.6	—

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各」学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(2) 1日のうち、テレビゲームやパソコンで遊ぶ時間

1日のうち、テレビゲームやパソコンで遊ぶ時間をみると、「ほとんど遊ばない」28.1%（前回31.5%）が最も多く、次いで「1時間より少ない」22.7%（前回22.2%）、「1時間以上で2時間より少ない」21.9%（前回22.1%）となっている。

男女別にみると、女子では「ほとんど遊ばない」が37.2%（男子19.9%）と男子に比べて多くなっている。（表21）

表21 1日のうち、テレビゲームやパソコンで遊ぶ時間の構成割合

（単位：％）

時 間	平成 16年	平成21年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんど遊ばない	31.5	28.1	19.9	37.2	23.3	25.4	35.0	40.0
1時間より少ない	22.2	22.7	23.1	22.2	25.0	22.4	21.1	20.0
1時間以上で2時間 より少ない	22.1	21.9	26.6	16.8	23.3	24.0	18.2	20.0
2時間以上で3時間 より少ない	9.6	11.9	13.6	10.0	13.2	13.6	8.8	10.0
3 時 間 以 上	7.6	8.7	11.2	6.0	8.1	8.6	9.7	—
持 っ て な い	3.9	3.8	2.2	5.6	4.1	3.9	3.4	10.0
不 詳	3.1	2.8	3.3	2.3	3.0	2.0	3.7	—

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 「テレビゲーム」には、家庭用ゲーム機のほか、携帯用ゲーム機も含む。

(3) 1日のうち、携帯電話を使用する時間

1日のうち、携帯電話を使用する時間をみると、「2時間以上」が16.7%（前回13.9%）が高く、次いで、「30分より少ない」13.2%（前回12.6%）となっている。

携帯電話を「持っている」割合は6割を超えており、学年別に携帯電話を「持っている」割合をみると、「小学校5～6年生」では3割を超えており、「中学生」では約6割、「高校生等」では約9割となっている。（表22）

表22 1日のうち、携帯電話を使用する時間の構成割合

（単位：％）

時 間	平 成 16年	平成21年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんど使用しない	11.2	12.1	13.0	11.2	17.9	10.9	7.1	70.0
30分より少ない	12.6	13.2	11.7	14.8	10.1	14.5	14.5	—
30分以上で1時間 より少ない	10.4	11.2	9.7	12.9	4.1	12.0	16.5	—
1時間以上で2時間 より少ない	6.5	9.8	9.7	10.0	1.4	7.3	20.2	10.0
2時間以上	13.9	16.7	11.4	22.5	1.0	13.2	34.5	10.0
持っていない	42.4	34.7	41.8	26.8	62.8	40.4	4.6	10.0
不詳	3.0	2.3	2.8	1.7	2.7	1.8	2.6	—

- 注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 「携帯電話の使用時間」には、通話のほか、メール、ゲーム等も含む。

6 不安や悩み、しつけの状況

(1) 現在持っている不安や悩み

現在持っている不安や悩みの状況をみると、何らかの不安や悩みを抱えている児童は、79.6%（前回67.4%）となっており、「不安や悩みがある」と答えた者の不安や悩みの内容をみると、「自分の勉強や進路について」が63.2%（前回74.3%）と最も多く、次いで「自分の顔や体形について」32.4%（前回42.9%）、「自分の性格や癖について」31.7%（前回41.8%）となっている。

また、学年別にみると、学年が高くなるにつれて不安や悩みを持つ割合が多くなっているが、特に「自分の勉強や進路について」は、「中学生」では68.4%、「高校生等」では75.5%と最も多くなっている。（表23）

表23 現在持っている不安や悩みの構成割合（複数回答）

（単位：％）

不安や悩みの種類	平成 16年	平成21年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
不安や悩みがない	32.6	20.4	25.2	15.0	28.4	18.8	15.1	40.0
不安や悩みがある	(100.0) 67.4	(100.0) 79.6	(100.0) 74.8	(100.0) 85.0	(100.0) 71.6	(100.0) 81.2	(100.0) 84.9	(100.0) 60.0
自分の健康について	(23.3) 15.7	(15.1) 12.0	(11.5) 8.6	(18.6) 15.8	(12.3) 8.8	(11.2) 9.1	(21.8) 18.5	(16.7) 10.0
自分の顔や体形について	(42.9) 28.9	(32.4) 25.8	(19.9) 14.9	(44.7) 38.0	(23.6) 16.9	(33.8) 27.4	(37.2) 31.6	(16.7) 10.0
自分の勉強や進路について	(74.3) 50.0	(63.2) 50.3	(60.0) 44.9	(66.2) 56.3	(38.7) 27.7	(68.4) 55.6	(75.5) 64.1	(－) －
自分の性格や癖について	(41.8) 28.2	(31.7) 25.2	(22.4) 16.8	(40.8) 34.7	(29.2) 20.9	(27.7) 22.4	(38.3) 32.5	(33.3) 20.0
いじめについて	(12.2) 8.2	(10.9) 8.7	(10.6) 7.9	(11.1) 9.4	(13.2) 9.5	(12.6) 10.2	(7.0) 6.0	(16.7) 10.0
自分の友達について	(27.6) 18.6	(18.9) 15.0	(8.8) 6.6	(28.8) 24.5	(19.3) 13.9	(19.8) 16.1	(17.4) 14.8	(16.7) 10.0
自分の性の問題について	(6.9) 4.7	(3.5) 2.8	(3.5) 2.6	(3.6) 3.1	(3.3) 2.4	(2.2) 1.8	(4.7) 4.0	(33.3) 20.0
ボーイ（ガール）フレンドについて	(18.2) 12.3	(9.8) 7.8	(8.3) 6.2	(11.3) 9.6	(5.2) 3.7	(8.4) 6.8	(14.4) 12.3	(33.3) 20.0
自分の家庭の問題について	(15.8) 10.7	(11.2) 8.9	(7.9) 5.9	(14.5) 12.3	(7.5) 5.4	(9.2) 7.5	(16.4) 14.0	(－) －
学校生活について	(29.2) 19.6	(20.7) 16.5	(15.0) 11.2	(26.3) 22.4	(18.4) 13.2	(21.5) 17.5	(21.5) 18.2	(16.7) 10.0
その他	(1.3) 0.8	(0.9) 0.7	(0.9) 0.7	(0.9) 0.8	(1.4) 1.0	(1.1) 0.9	(1.0) 0.9	(－) －

注) 1. 「高校生等」とは、「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 括弧内の数値は、「不安や悩みがある」と回答した者を100%とした構成割合である。（複数回答）

(2) 現在持っている不安や悩みの相談相手

現在持っている不安や悩みの相談相手を見ると、「親に相談する」が30.2%（前回26.0%）と最も多く、次いで「友達に相談する」21.6%（前回24.5%）、「自分でよく考えて解決に向けて努力する」17.0%（前回18.5%）となっており、「親に相談する」では、「自分の健康について」40.4%が最も多く、次いで「いじめについて」が34.9%、「自分の勉強や進路について」が34.3%となっている。（表24）

表24 現在持っている不安や悩みの相談相手の構成割合
（不安や悩みのある場合、3つまでの複数回答）

（単位：％）

不安や悩みの種類	総数	親に相談する	兄弟（姉妹）に相談する	親戚の人に相談する	先生に相談する	友達に相談する	電相す	話談る	インターネットで相談する	自分でよく考えて解決に向けて努力する	その他	相談相手はいない	不詳
（平成16年） 総数	100.0	26.0	7.7	1.1	9.9	24.5	0.3	1.2	18.5	3.1	6.0	1.6	
（平成21年） 総数	100.0	30.2	7.8	1.3	10.6	21.6	—	1.0	17.0	1.6	6.4	2.5	
自分の健康について	100.0	40.4	9.0	0.8	7.8	19.6	—	2.0	15.7	0.8	2.4	1.6	
自分の顔や体形について	100.0	30.5	10.2	2.2	0.8	18.2	—	1.8	23.5	2.0	8.8	1.8	
自分の勉強や進路について	100.0	34.3	6.4	1.3	20.2	18.6	—	0.3	12.8	1.0	3.1	2.2	
自分の性格や癖について	100.0	22.9	7.3	0.4	3.6	22.9	—	1.6	24.5	2.0	10.9	3.8	
いじめについて	100.0	34.9	5.4	1.6	21.0	16.1	—	0.5	14.0	0.5	4.8	1.1	
自分の友達について	100.0	26.1	8.2	1.4	5.7	26.4	—	0.7	19.3	1.4	6.4	4.3	
自分の性の問題について	100.0	25.0	5.8	—	3.8	23.1	—	3.8	15.4	3.8	17.3	1.9	
ボーイフレンドまたはガールフレンドについて	100.0	17.9	10.9	—	1.3	43.6	—	3.2	14.7	1.9	3.8	2.6	
自分の家庭の問題について	100.0	19.1	8.9	1.9	6.4	23.6	—	—	16.6	4.5	15.3	3.8	
学校生活について	100.0	30.8	8.3	1.5	9.2	24.3	—	0.3	14.5	2.1	6.5	2.7	
その他	100.0	25.0	10.0	—	5.0	20.0	—	5.0	10.0	5.0	15.0	5.0	

(3) 父母のしつけについてどう思っているかの状況

父母のしつけについてどう思っているかの状況を見ると、父では「どちらともいえない」が26.3%（前回26.2%）と最も多く、次いで「やや厳しいと思う」が23.2%（前回21.8%）、「わからない」が15.4%（前回16.9%）となっている。

また、母では「やや厳しいと思う」が28.3%（前回31.6%）と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.0%（前回25.6%）、「やや甘いと思う」が14.8%（前回14.8%）となっている。（表25）

表25 父母のしつけについてどう思っているかの構成割合

(単位：%)

父 母 の し つ け	平 成 16年	平 成 2 1 年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 生 5～6年生	中学生	高校生等	就 職 ・ そ の 他
父 総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
と っ て も 厳 し い と 思 う	6.8	6.9	7.6	6.2	8.1	6.1	6.6	20.0
や や 厳 し い と 思 う	21.8	23.2	24.5	21.8	34.5	19.3	18.5	30.0
や や 甘 い と 思 う	15.5	14.2	13.3	15.2	12.5	15.0	14.5	20.0
と っ て も 甘 い と 思 う	4.9	4.7	2.9	6.7	3.0	5.4	5.4	—
ど ち ら と も い え な い	26.2	26.3	27.5	25.0	22.6	26.8	29.3	10.0
わ か ら な い	16.9	15.4	15.0	15.8	11.8	17.2	16.5	—
お 父 さ ん は い な い	7.2	7.2	6.7	7.7	5.7	7.9	7.1	20.0
不 詳	0.7	2.0	2.4	1.5	1.7	2.3	2.0	—
母 総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
と っ て も 厳 し い と 思 う	8.9	9.5	10.2	8.7	13.2	8.2	7.4	30.0
や や 厳 し い と 思 う	31.6	28.3	27.5	29.3	33.8	29.3	22.5	30.0
や や 甘 い と 思 う	14.8	14.8	15.2	14.5	13.5	11.3	20.5	10.0
と っ て も 甘 い と 思 う	2.4	3.2	3.3	3.1	2.0	3.9	3.4	—
ど ち ら と も い え な い	25.6	27.0	26.6	27.4	22.0	28.1	29.6	30.0
わ か ら な い	14.3	13.5	13.0	14.1	12.2	15.2	12.8	—
お 母 さ ん は い な い	1.7	2.2	2.4	1.9	2.7	2.0	2.0	—
不 詳	0.7	1.5	1.9	1.2	0.7	2.0	1.7	—

注) 「高校生等」とは、「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

7 大切なことと思うこと

大切なことと思うことの状態をみると、「健康であること」が61.3%（前回60.6%）と最も多く、次いで「友達がたくさんいること」58.1%（前回59.8%）、「将来に夢を持っていること」44.6%（前回48.1%）となっている。

性別でみると、男子では「健康であること」が58.7%と最も多く、次いで「友達がたくさんいること」が58.2%となっており、女子でも、「健康であること」が64.2%と最も多く、次いで「友達がたくさんいること」が58.0%となっている。

また、学年別にみても、「友達がたくさんいること」、「健康であること」が同様に多くなっている。（表26）

表26 大切なことと思うことの構成割合（3つまでの複数回答）

（単位：％）

大切なこと	平成 16年	平成21年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
勉強ができること	21.5	25.2	26.8	23.5	28.0	28.6	19.4	—
いろんなことを知っていること	12.6	16.8	18.1	15.2	11.5	12.5	26.2	30.0
お金がたくさんあること	16.9	15.9	20.4	11.0	11.5	16.1	19.7	10.0
友達がたくさんいること	59.8	58.1	58.2	58.0	73.0	55.3	49.0	60.0
健康であること	60.6	61.3	58.7	64.2	62.2	60.8	61.3	60.0
将来に夢を持っていること	48.1	44.6	42.7	46.8	38.9	44.2	50.1	40.0
運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること	32.0	28.0	28.5	27.4	27.7	30.2	24.8	50.0
人の嫌がることをすすんでやること	8.0	9.0	7.4	10.8	5.1	10.2	11.1	—
勇気を持っていること	34.3	31.8	28.0	36.0	35.5	32.7	27.9	20.0
不詳	6.1	9.3	11.2	7.1	6.8	9.5	10.5	30.0

注）「高校生等」は「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

8 困っている人に会ったときの対応

(1) 電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていたときの対応

電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていたときの対応をみると、「声をかけて、席をゆずる」が58.9%（前回49.9%）と最も多くなっており、女子では64.0%と男子54.4%に比べて多くなっている。

また、学年別では、「声をかけて、席をゆずる」が「小学生5～6年生」、「高校生等」では6割以上なのに対し、「中学生」52.7%となっており、約5割となっている。（表27）

表27 電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていたときの対応の構成割合

（単位：％）

対 応	平成 16年	平成21年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
声をかけて、席をゆずる	49.9	58.9	54.4	64.0	66.0	52.7	60.9	55.6
黙って席を立ち、他へ行く	30.7	28.1	31.1	24.9	19.2	34.5	28.1	11.1
何となく恥ずかしいのでそのままにいる	14.9	9.4	10.3	8.4	11.3	8.4	8.4	33.3
別に何とも思わない	4.4	3.5	4.3	2.7	3.4	4.4	2.6	—

注）「高校生等」とは、「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(2) 遊園地で迷子を見かけたときの対応

遊園地で迷子を見かけたときの対応をみると、「自分の家族や係の人のところへ連れていく」が43.2%（前回38.7%）と最も多くなっており、特に女子では51.5%と男子35.7%に比べて多くなっている。性別でみると、男子では「知らないふりで、通りすぎる」が17.1%と女子7.0%に比べて多くなっている。

また、学年別では、「中学生」で「気になって、しばらく遠くから見ている」が42.2%と多くなっている。（表28）

表28 遊園地で迷子を見かけたときの対応の構成割合

（単位：％）

対 応	平成 16年	平成21年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自分の家族や係の人のところへ連れていく	38.7	43.2	35.7	51.5	47.6	33.8	51.7	22.2
その子の家族が来るまで一緒にいてあげる	11.3	10.6	10.1	11.2	11.0	11.4	9.0	22.2
気になって、しばらく遠くから見ている	37.5	33.9	37.1	30.3	27.2	42.2	28.6	55.6
知らないふりで、通りすぎる	12.5	12.3	17.1	7.0	14.1	12.6	10.7	—

注）「高校生等」とは、「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(3) クラスの誰かが他の子をいじめているのを見たときの対応

クラスの誰かが他の子をいじめているのを見たときの対応をみると、「友達に相談する」が36.4%（前回36.2%）と最も多くなっており、次いで「先生に知らせる」25.7%（前回21.4%）となっている。性別でみると、男子では「別に何もしない」が26.3%と女子15.1%に比べて多くなっており、女子では「友達に相談する」が48.0%と男子25.9%に比べて多くなっている。

また、学年別では、「小学生」では「先生に知らせる」が39.7%、「中学生」では「友達に相談する」が39.7%、「高校生等」では44.3%と多くなっている。（表29）

表29 クラスの誰かが他の子をいじめているのを見たときの対応の構成割合

（単位：％）

対 応	平成 16年	平成21年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
「やめろ！」と言って止めようとする	18.0	16.9	21.6	11.6	24.1	13.4	15.1	—
先生に知らせる	21.4	25.7	26.1	25.3	39.7	25.1	14.8	—
友達に相談する	36.2	36.4	25.9	48.0	22.1	39.7	44.3	—
別に何もしない	24.4	21.0	26.3	15.1	14.1	21.8	25.8	—

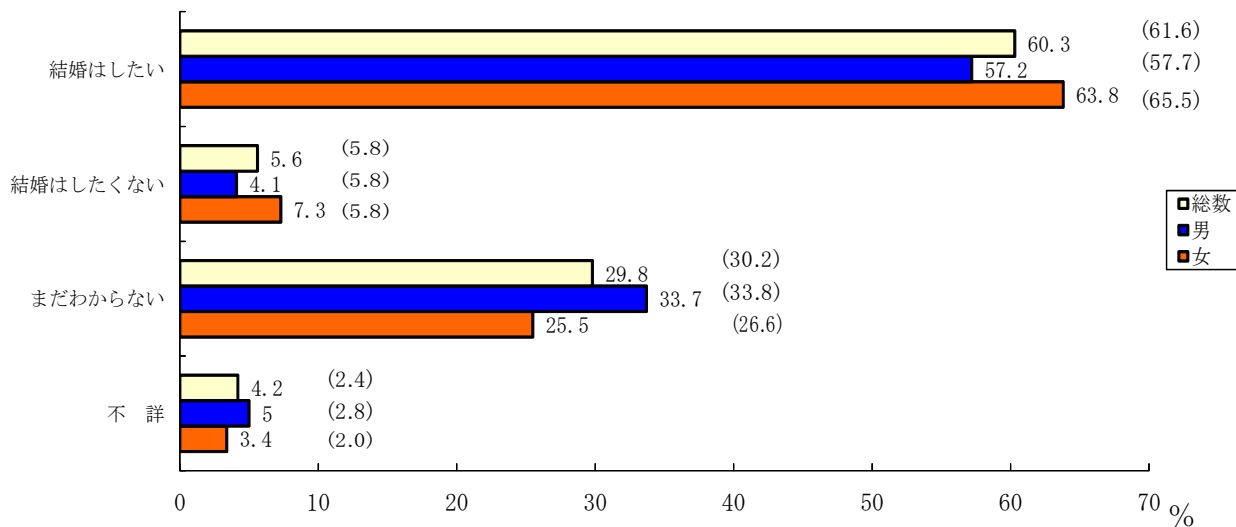
注）「高校生等」とは、「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

9 自分の将来と今、幸せだと思うかどうかについての状況（中学生以上）

（1）将来、結婚をしたいと思っているか（中学生以上）

将来、結婚をしたいと思っているかの状況を見ると、「結婚はしたい」が60.3%（前回61.6%）となっており、性別で見ると、男子では57.2%、女子では63.8%と男子に比べ多くなっている。（図6）

図6 将来、結婚をしたいと思っているか（平成21年）



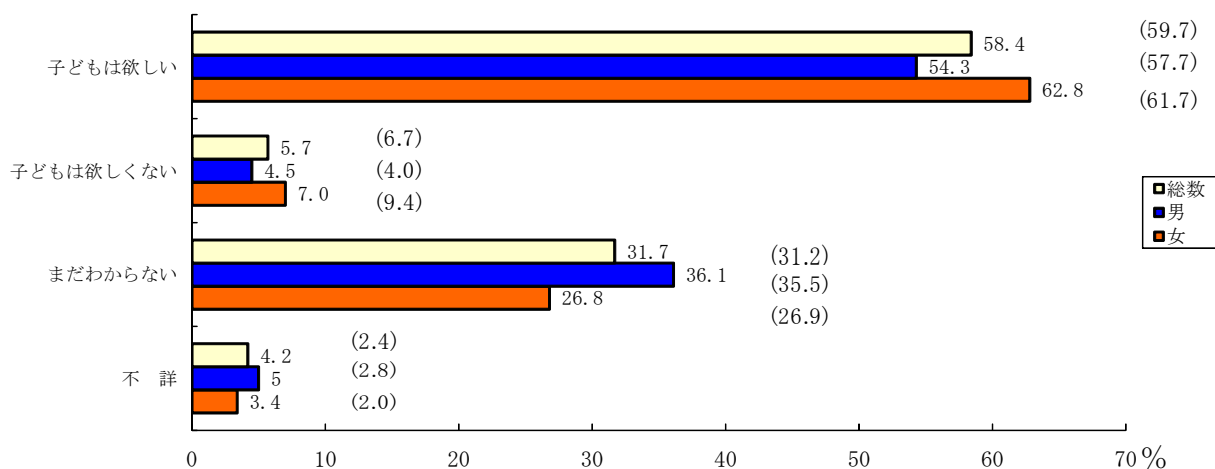
注1) 性・学年別は、P 28、「参考表2 将来、結婚をしたいと思っているか、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）」参照。

注2) 括弧内の数値は、前回の平成16年の数値である。

（2）将来、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）

将来、子どもを欲しいと思っているかの状況を見ると、「子どもは欲しい」が58.4%（前回59.7%）となっており、性別で見ると、男子では54.3%、女子では62.8%と男子に比べ多くなっている。（図7）

図7 将来、子どもを欲しいと思うか（平成21年）



注1) 性・学年別は、P 28、「参考表2 将来、結婚をしたいと思っているか、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）」参照。

注2) 括弧内の数値は、前回の平成16年の数値である。

(3) 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）の状況

今、幸せだと思うかどうかの状況をみると、「とても幸せだと思う」が44.5%（前回37.8%）と最も多くなっており、「やや幸せだと思う」の32.7%（前回34.4%）と合計すると、7割以上が幸せであると感じている。性別でみると、「とても幸せだと思う」は男子が44.7%と女子44.3%とほぼ同じ割合となっている。（表30及び図8）

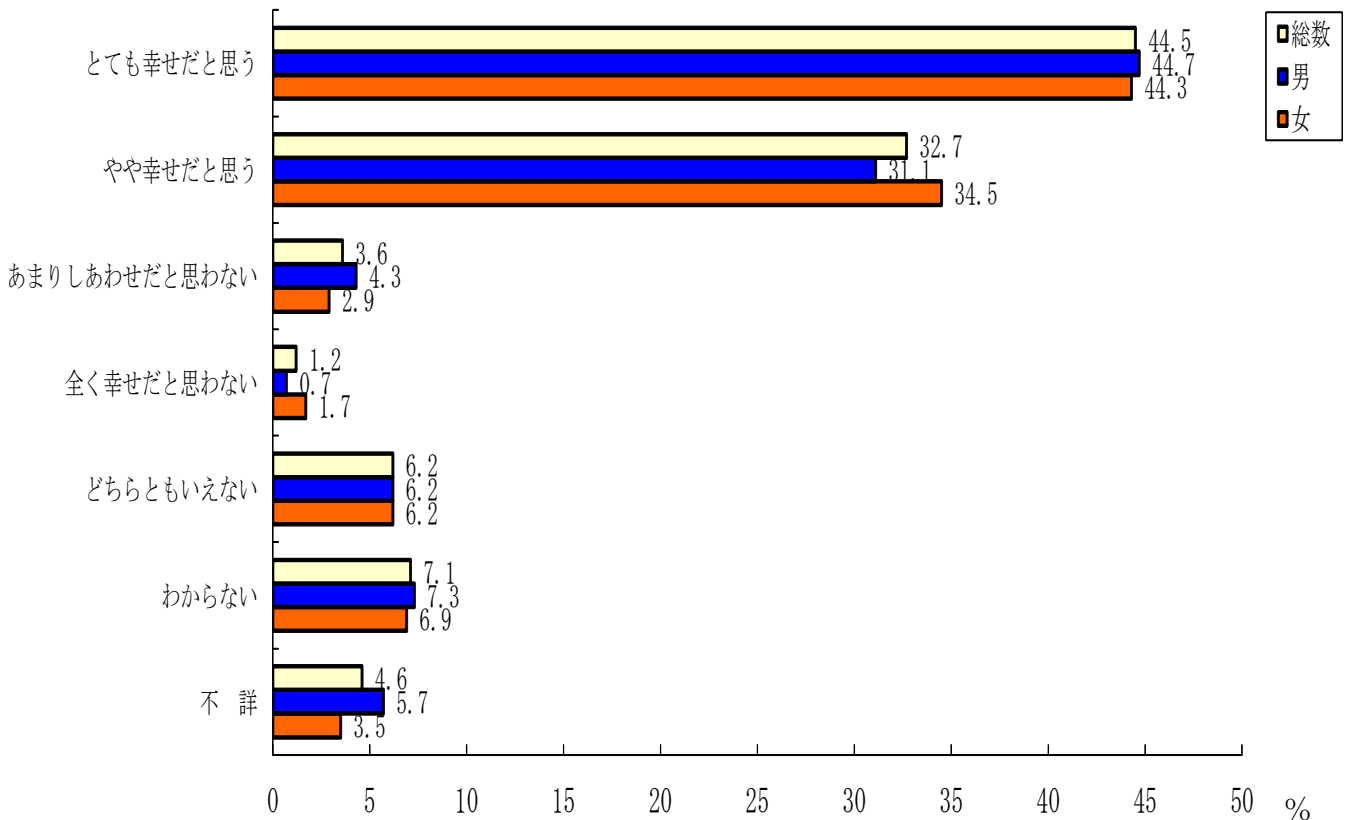
表30 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）の構成割合

（単位：％）

幸せだと思うかどうか	平成 16年	平成21年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
とても幸せだと思う	37.8	44.5	44.7	44.3	55.7	41.3	38.7	60.0
やや幸せだと思う	34.4	32.7	31.1	34.5	27.7	36.1	32.8	30.0
あまり幸せだと思わない	7.3	3.6	4.3	2.9	3.0	3.4	4.6	—
まったく幸せだと思わない	1.1	1.2	0.7	1.7	1.0	0.9	1.7	—
どちらともいえない	8.0	6.2	6.2	6.2	4.1	6.6	7.7	—
わからない	7.7	7.1	7.3	6.9	5.1	7.3	8.5	10.0
不詳	3.6	4.6	5.7	3.5	3.4	4.5	6.0	—

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

図8 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）（平成21年）



参 考 表

参考表 1 子どもの就学状況別にみた1か月間（平成21年11月の1か月）にかかる養育費

(1) 教育費

(単位：%)

(平成21年)

1か月間にかかる 教 育 費	性・学年								
	総 数	男	女	未就学	小 学 校 1～3年生	小 学 校 4～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1万円未満	36.4	36.6	36.3	77.9	28.8	27.2	17.4	5.0	100.0
1万～2万円未満	23.1	23.8	22.4	8.3	37.2	37.4	22.2	15.9	—
2万～3万円未満	15.5	15.4	15.7	4.3	21.6	16.3	18.8	23.3	—
3万～4万円未満	9.7	8.7	10.8	5.1	5.9	7.4	17.1	16.6	—
4万～5万円未満	4.0	3.9	4.1	1.1	1.5	4.2	6.6	8.6	—
5万円以上	11.2	11.6	10.8	3.3	5.1	7.4	17.8	30.6	—

- 注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
 2. 「教育費」とは、授業料（長期分は1か月に換算）、習い事（塾等）の授業料（月謝）、教科書、学習参考書、給食費、PTA会費、通学のための交通費のこと。
 3. 就学年別では不詳数を除く。

(2) 保育料

(単位：%)

(平成21年)

1か月間にかかる 保 育 料	性・学年								
	総 数	男	女	未就学	小 学 校 1～3年生	小 学 校 4～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—
1万円未満	46.6	46.1	47.0	46.7	—	—	—	—	—
1万～2万円未満	10.6	8.1	13.1	10.5	—	—	—	—	—
2万～3万円未満	21.7	23.6	19.8	21.7	—	—	—	—	—
3万～4万円未満	13.5	14.0	13.1	13.6	—	—	—	—	—
4万～5万円未満	3.1	3.3	2.8	3.1	—	—	—	—	—
5万円以上	4.5	4.8	4.2	4.5	—	—	—	—	—

- 注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
 2. 「保育料」とは、保育所（給食、おやつ代を含む）、ベビーシッター、保育ママ、ベビーホテルにかかった費用のほか、その他の保育施設、自宅・知り合いの家等により、保育が行われている場合も含まれるため、実際には「保育料」がかかっていない未就学児童も含まれた費用のこと。
 3. 就学年別では不詳数を除く。

(3) 医療費

(単位：%)

(平成21年)

1か月間にかかる 医 療 費	性・学年								
	総 数	男	女	未就学	小 学 校 1～3年生	小 学 校 4～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1万円未満	92.1	91.5	92.7	94.2	89.1	92.8	91.0	91.7	100.0
1万～2万円未満	6.1	6.6	5.6	3.8	8.4	6.2	7.1	6.6	—
2万～3万円未満	0.8	0.8	0.7	0.5	1.5	0.5	0.7	0.3	—
3万～4万円未満	0.1	0.2	0.1	—	—	0.2	0.5	—	—
4万～5万円未満	0.2	0.4	0.1	—	0.3	0.2	0.5	0.3	—
5万円以上	0.7	0.5	0.9	1.4	0.8	—	0.2	1.0	—

- 注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
 2. 「医療費」とは、医療機関へかかった（入院、通院）費用のこと。
 3. 就学年別では不詳数を除く。

(4) 小遣い

(単位：%)

(平成21年)

1か月分の小遣い	性・学年								
	総数	男	女	未就学	小学校 1～3年生	小学校 4～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1万円未満	96.6	96.6	96.5	100.0	99.0	99.0	96.6	83.4	100.0
1万～2万円未満	2.5	2.3	2.8	—	0.8	1.0	1.5	13.6	—
2万～3万円未満	0.3	0.5	0.2	—	—	—	0.5	1.3	—
3万～4万円未満	0.2	0.4	0.1	—	—	—	1.0	0.3	—
4万～5万円未満	—	0.1	—	—	—	—	0.2	—	—
5万円以上	0.3	0.2	0.4	—	0.3	—	0.2	1.3	—

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 就学年別では不詳数を除く。

参考表2 将来、結婚をしたいと思っているか、子どもを欲しいと思うか (中学生以上)

(単位：%)

(平成21年)

結婚をしたいと思っ ているか・子どもを 欲しいと思うか	性・学年					
	総数	男	女	中学生	高校生等	就職・ その他
結 婚	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
結婚はしたい	60.3	57.2	63.8	57.4	65.0	30.0
結婚はしたくない	5.6	4.1	7.3	5.4	6.0	—
まだ分からない	29.8	33.7	25.5	33.6	25.6	10.0
不詳	4.2	5.0	3.4	3.6	3.4	60.0
子 ども	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子どもは欲しい	58.4	54.3	62.8	55.3	63.0	30.0
子どもは欲しくない	5.7	4.5	7.0	5.4	6.3	—
まだ分からない	31.7	36.1	26.8	35.6	27.4	10.0
不詳	4.2	5.0	3.4	3.6	3.4	60.0

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

参考表3 生活行動の経験

(単位：%)

(平成21年)

性・学年	犬、ネコ、小鳥などの世話をしたこと					困っている人を助けてあげたこと					自分で決めたこと(ボウリング、勉強などをやりとげ、よくやったなど今でもうれしく思う)				
	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳
総数	100.0	31.9	31.2	35.7	1.2	100.0	16.4	69.9	12.7	1.0	100.0	39.5	48.2	11.5	0.8
男	100.0	29.7	29.5	39.9	0.9	100.0	15.5	69.3	14.7	0.5	100.0	40.4	46.5	12.6	0.5
女	100.0	34.3	33.1	31.0	1.5	100.0	17.3	70.7	10.4	1.5	100.0	38.5	50.1	10.2	1.2
小学校5～6年生	100.0	32.1	29.7	37.2	1.0	100.0	16.6	70.3	12.5	0.7	100.0	43.9	45.6	9.8	0.7
中学生	100.0	30.4	31.5	37.2	0.9	100.0	16.1	70.3	12.5	1.1	100.0	37.2	52.2	10.0	0.7
高校生等	100.0	33.6	31.6	33.0	1.7	100.0	16.5	69.5	12.8	1.1	100.0	38.7	45.6	14.5	1.1
就職・その他	100.0	30.0	50.0	20.0	—	100.0	20.0	60.0	20.0	—	100.0	40.0	40.0	20.0	—

性・学年	両親と離れて一人で、親類や友達などの家に泊まったこと					赤ちゃんをあやしたり、小さな子の面倒をみたこと					病人やお年寄りのお世話をしたあげたこと				
	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳
総数	100.0	21.3	48.5	29.1	1.0	100.0	25.5	44.8	28.8	0.9	100.0	7.9	41.2	50.1	0.8
男	100.0	21.8	44.4	33.0	0.9	100.0	21.9	42.0	35.6	0.5	100.0	7.4	40.9	51.1	0.5
女	100.0	20.8	53.2	24.9	1.2	100.0	29.5	48.0	21.2	1.3	100.0	8.5	41.4	48.9	1.2
小学校5～6年生	100.0	22.0	47.3	30.1	0.7	100.0	37.2	40.5	20.9	1.4	100.0	8.4	35.1	55.7	0.7
中学生	100.0	19.0	46.7	33.1	1.1	100.0	22.2	45.8	31.3	0.7	100.0	7.0	43.5	48.8	0.7
高校生等	100.0	23.9	51.9	23.1	1.1	100.0	19.7	47.0	32.5	0.9	100.0	8.8	42.2	47.9	1.1
就職・その他	100.0	10.0	50.0	40.0	—	100.0	30.0	50.0	20.0	—	100.0	—	80.0	20.0	—

性・学年	知りたり、しかられたりして、何もかもいやになってしまったこと					大勢で、1人の子をいじめてしまったこと					いじめを受けていたこと				
	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳
総数	100.0	23.7	50.4	25.1	0.8	100.0	1.8	18.2	78.9	1.1	100.0	5.6	19.0	74.1	1.3
男	100.0	19.9	51.8	27.8	0.5	100.0	2.2	18.0	78.9	0.9	100.0	5.4	18.0	75.8	0.9
女	100.0	27.9	48.7	22.2	1.2	100.0	1.3	18.5	78.8	1.3	100.0	5.8	20.2	72.3	1.7
小学校5～6年生	100.0	23.3	47.0	29.1	0.7	100.0	2.0	18.2	78.7	1.0	100.0	6.4	19.3	73.6	0.7
中学生	100.0	21.8	52.2	25.4	0.7	100.0	2.0	16.1	80.7	1.1	100.0	4.8	17.7	76.4	1.1
高校生等	100.0	26.5	50.7	21.7	1.1	100.0	1.4	20.8	76.6	1.1	100.0	5.7	21.1	71.5	1.7
就職・その他	100.0	20.0	60.0	20.0	—	100.0	—	20.0	80.0	—	100.0	10.0	—	80.0	10.0

性・学年	何の理由で、学校へ行きたくなくて、学校を休んだこと				
	総数	よくある	たまにある	まったくない	不詳
総数	100.0	7.1	19.0	72.7	1.2
男	100.0	5.7	17.3	76.2	0.9
女	100.0	8.7	21.0	68.8	1.5
小学校5～6年生	100.0	2.4	11.1	85.1	1.4
中学生	100.0	5.7	18.8	74.8	0.7
高校生等	100.0	12.5	26.2	59.8	1.4
就職・その他	100.0	20.0	10.0	60.0	10.0

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

用語の説明

1. 「世帯」とは、住居と生計を共にしている人々の集まりを1つの世帯という（ここでいう「生計」とは、日常生活を営むための収入と支出をいう）。
 - 一般の住宅などの場合
一戸建て・長屋建ての家やアパート・マンションなどに住んでいる人については、次のように世帯を決める。
 - (1) 一般の家庭の場合
→ 1つの世帯とする。ただし、単身で住み込みの雇人は、雇主と生計を共にしている時は、雇主の世帯に含め、生計を別にしていない時は、別の世帯とする。
 - (2) 二世帯家族が1つの家に住んでいる場合
→ 家族全員が生計を共にしている時は、1つの世帯とする。ただし、親と子ども夫婦とが生計を別にしていない時は、それぞれを1つの世帯とする。
 - (3) アパートやマンションなどの場合
→ 各戸ごとに1つの世帯とする。ただし、兄弟、友人等で、同居（同室）していても生計が別の場合は、それぞれを1つの世帯とする。
 - (4) 単身で間借りや下宿している人がいる場合
→ 家主の世帯とは別に、1人1人を1つの世帯とする。ただし、夫婦など家族で間借りや下宿している時は、その家族ごとに1つの世帯とする。
2. 「同居」とは、18歳未満の子どものいる世帯の世帯員であること。
3. 「別居」とは、単身赴任や出稼ぎ等により、その世帯にはいないが、日常生活上の経済関係がある場合をいう。
4. 「就職」とは、収入を伴う仕事に従事している場合をいう。
5. 「つどいの広場」とは、公共施設内のスペース、公民館、学校の余裕教室などを利用し、子育て中の親子が気軽に集い、相談・交流できる場所をいう。
6. 「養育支援訪問事業」とは、①妊娠期や出産後間もない時期に子育てOB（経験者）やヘルパー等の家庭訪問による育児、家事の援助②支援を必要とする家庭に対し、保健師、助産師、保育士等による養育に関する相談や指導を行う事業をいう。
7. 「子育て支援センター」とは、子育てに関する相談や情報提供、子育てサークルの育成・支援・育児講座などの様々な事業を行う場所をいう。
8. 「病児・病後児保育事業」とは、地域の児童を対象に当該児童が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペースにおいて看護師等が保育する事業、及び保育中に体調不良となった児童を保育所の医務室等において看護師等が緊急的な対応を行う事業をいう。
9. 「放課後児童クラブ」とは、保護者が昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、授業終了後に児童館、学校の余裕教室等を利用して、適切な遊びや生活の場を与える事業をいう。
10. 「ファミリーサポートセンター」とは、育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となって、育児の助け合いを行う事業をいう。
11. 「子育てNPO」とは、子育てに関する支援を行う民間の非営利団体をいう。
12. 「母親クラブ」とは、子どもの健全育成を図るため、母親の親睦、母と子のレクリエーション活動、家庭におけるしつけに関する研修会の開催等を行う母親の団体をいう。
13. 「子ども会育成会」とは、子ども会の活動を援助することを目的として組織された親の会をいう。